

貸渡約款

第1章 総則

第1条 (約款の適用)

1. 当社はこの約款の定めるところにより、貸渡自動車及び貸渡自転車（以下「レンタル車両」という）を借受人に貸渡すものとし、借受人はこれを借受けるものとします。なお、この約款に定めのない事項については、法令または一般の慣習によるものとし、
2. 当社は、この約款の趣旨、法令、行政通達および一般の慣習に反しない範囲で特約に応ずることがあります。特約した場合には、その特約が約款に優先するものとし、

第2章 予約

第2条 (予約の申込)

1. 借受人は、レンタル車両を借受けるにあたって、この約款および当社所定の利用料金等に同意のうえ、当社所定の方法により、あらかじめ車種タイプ（貸渡自転車の場合）、借受開始日時、借受場所、借受期間、返還場所、運転者、チャイルドシート（貸渡自転車の場合）等付属品の要否、その他の借受条件（以下「借受条件」という）を明示して予約の申込を行うことができます。
2. 当社は、借受人から予約の申込があったときは、原則として、当社の保有するレンタル車両の範囲内で予約に応ずるものとし、

第3条 (予約の変更)

1. 借受人は、前条第1項の借受条件を変更しようとするときは、あらかじめ当社の承諾を受けなければならないものとします。

第4条 (予約の取消等)

1. 借受人は、当社の承諾を得て予約を取り消すことができます。
2. 借受人が、借受人の都合により、予約した借受開始時刻を1時間以上経過してもレンタル車両貸渡契約（以下「貸渡契約」という）が締結されなかったときは、予約が取消されたものとします。
3. 借受人の都合により予約が取消されたときは、借受人は、別に定めるところにより当社所定の予約取消手数料（以下「キャンセル料」という）を当社に支払うものとし、
4. 事故、盗難、不返還、リコール等の事由または天災その他の借受人もしくは当社のいずれの責にもよらない事由により貸渡契約が締結されなかったときは、予約は取消されたものとします。

第5条 (代替レンタル車両)

1. 当社は、借受人から予約のあった車種タイプのレンタル車両の貸渡しができないときは、借受人に対し、予約と異なる車種タイプのレンタル車両（以下「代替レンタル車両」という）の貸渡しを申し入れることができるものとします。
2. 借受人が前項の申入れを承諾したときは、当社は車種タイプを除き予約時と同一の借受条件で代替レンタル車両を貸渡すものとし、
3. 借受人が第1項の代替レンタル車両の貸渡しの申入れを拒絶した場合は、予約は取消されるものとし、この場合において、貸渡しすることができない原因が当社の責に帰さない事由によるときは、第4条第4項に準じて取扱うものとし、

第6条 (免責)

1. 当社および借受人は、予約が取消され、または貸渡契約が締結されなかったことについては、第4条および第5条に定める場合を除き、相互に何ら請求をしないものとします。

第7条 (予約業務の代行)

1. 借受人は、当社に代わって予約業務を取扱う南アルプス市観光協会（以下「代行業者」という）において予約の申込をすることができます。
2. 代行業者に対して前項の申込みを行ったときは、借受人はその代行業者に対して予約の変更または取消を申し込むことができるものとし、

第3章 貸渡

第8条 (貸渡契約の締結)

1. 借受人は第2条第1項に定める借受条件を明示し、当社はこの約款・利用料金表等により貸渡条件を明示して、貸渡契約を締結するものとし、ただし、貸渡することができるレンタル車両がない場合、または借受人もしくは運転

- 者が第9条第1項または第2項各号のいずれかに該当する場合を除きます。
2. 貸渡契約を締結した場合、借受人は当社に第11条第1項に定める貸渡料金を支払うものとし、
3. 当社は、監督官庁のレンタカーに関する基本通達に基づき、貸渡簿（貸渡原票）および第14条第1項に規定する貸渡証に運転者の氏名、住所、運転免許の種類および運転免許証の番号を記載しまたは運転者の運転免許の写しを添付するため、貸渡契約の締結にあたり、借受人に対し、借受人または借受人の指定する運転者（以下「運転者」という）の運転免許証の提示を求め、当社が必要と認めた場合はその写しの提出を求めます。この場合、借受人は、自己が運転者であるときは自己の運転免許証を提示し、当社が求めた場合はその写しを提出するものとし、借受人と運転者が異なるときは運転者の運転免許証を提示し、当社が求めた場合はその写しを提出するものとし、
※監督官庁の基本通達とは、国土交通省自動車交通局長通達「レンタカーに関する基本通達」（自旅第138号 平成7年6月13日）の2.(10)(11)をいいます。

※運転免許証とは、道路交通法第92条に規定される運転免許証のうち、道路交通法施行規則第19条別記様式第14の書式の運転免許証をいいます。また、~~道路交通法第107条の2に規定する国際運転免許証または外国運転免許証は、運転免許証に準じます。~~

※なお、当社が運営するツアーにおいて当社が認めたとき、道路交通法第107条の2に規定する国際運転免許証または外国運転免許証が運転免許証に準じるものとし、その際、国際運転免許証の場合は自国のパスポートも提示を求めるものとし、また、外国運転免許証の場合は免許証とその免許証の日本語翻訳文、運転者のパスポートの提示を求めるものとし、これらが提示されないときは、貸渡契約を締結することができないものとし、

4. 当社は、貸渡契約の締結にあたり、借受人及び運転者に対し、運転免許証の他に本人の身元が確認できる書類の提示を求め、および提出された書類の写しをとることがあります。
5. 当社は、貸渡契約の締結にあたり、借受人または運転者に携帯電話番号等の告知を求めるものとし、
6. 当社は、貸渡契約の締結にあたり、借受人に対し、現金による支払を求めることがあります。

第9条 (貸渡契約の締結の拒絶)

1. 借受人または運転者が次の各号のいずれかに該当する場合は、貸渡契約を締結することができないものとし、
(1)貸渡しレンタル車両の運転に必要な運転免許証の提示がないとき。
(2)酒気を帯びていると認められるとき。
(3)麻薬、覚せい剤、シンナー等による中毒症状等を呈しているとして認められるとき。
(4)チャイルドシートがないにもかかわらず、6才未満の幼児を同乗させるとき。
(5)暴力団、暴力団関係団体の構成員もしくは関係者、またはその他の反社会的組織に属している者であると認められるとき。
(6)妊娠中、心臓に疾患があると認められるとき。
2. 借受人または運転者が次の各号のいずれかに該当する場合は、当社は貸渡契約の締結を拒絶することができるものとし、

- (1)予約に際して定めた運転者と貸渡契約締結時の運転者とが異なるとき。
 - (2)過去の貸渡しにおいて、貸渡料金の支払いを滞納した事実があるとき。
 - (3)過去の貸渡しにおいて、第17条の各号に掲げる行為があったとき。
 - (4)過去の貸渡し（他のレンタカー事業者による貸渡しを含む）において、第18条第7項または第23条第1項に掲げる行為があったとき。
 - (5)過去の貸渡しにおいて、貸渡約款または保険約款違反により自動車保険が適用されなかった事実があったとき。
 - (6)その他当社が不適当と認めたとき。
3. 前2項の場合、当社と借受人との間に既に予約が成立していたときは、借受人の都合による予約の取消しがあったものとして取り扱い、借受人は第4条第3項に準じて予約取消手数料を支払うものとし、

第10条 (貸渡契約の成立等)

1. 貸渡契約は、借受人が貸渡契約書に署名し、当社に貸渡料金を支払い、当社が借受人にレンタル車両（付属品を含む、以下同じ）を引渡ししたときに成立するものとし、
2. 前項の引渡しは、第2条第1項の借受開始日時および借受場所で行うものと

します。

第11条 (貸渡料金)

1. 貸渡料金とは、以下の金額をいうものとします。
(1)保険料(2)レンタル基本料金
2. 第2条による予約を完了した後に、当社が貸渡料金を改定したときは、予約時と貸渡時のいずれか低い方の貸渡料金を適用するものとし、

第12条 (借受条件の変更)

1. 借受人は、貸渡契約の締結後、第8条第1項の借受条件を変更しようとするときは、あらかじめ当社の承諾を受けなければならないものとし、ただし借受条件の変更によって貸渡業務に支障が生ずるときは、当社はその変更を承諾しないことがあります。

第13条 (点検整備および確認)

1. 当社は、必要な整備を実施したレンタル車両を貸渡すものとし、
2. 借受人または運転者は、前項の点検整備が実施されていることおよび別に定める点検表に基づく車体外観および付属品を検査し、レンタル車両に整備不良がないことおよび借受条件を満たしていることを確認するものとし、
3. 当社は前項の確認によって整備不良が発見されたときは、直ちに必要な整備等を実施するものとし、

第14条 (貸渡証の交付、携行等)

1. 当社は、レンタル車両を引渡ししたときは、所定の貸渡証を借受人または運転者に交付するものとし、
2. 借受人または運転者は、レンタル車両の使用、前項により交付を受けた貸渡証を携行しなければならないものとし、
3. 借受人または運転者は、貸渡証を紛失したときは、直ちにその旨を当社に通知するものとし、
4. 借受人または運転者は、レンタル車両を返還するときに、貸渡証を当社に返還するものとし、

第4章 使用

第15条 (借受人の管理責任)

1. 借受人または運転者は、レンタル車両の引渡しを受けてから当社に返還するまでの間（以下「使用中」という）、善良な管理者の注意義務をもってレンタル車両を使用し、保管するものとし、

第16条 (日常点検整備)

1. 借受人又は運転者は、使用中のレンタル車両について、使用する前に必要な整備を実施しなければならないものとし、

第17条 (禁止行為)

1. 借受人または運転者は、使用中に次の行為をしてはならないものとし、
(1)当社の承諾および道路運送法に基づく許可等を受けることなくレンタル車両を自動車運送事業又はこれに類する目的に使用すること。
(2)レンタル車両を所定の用途以外に使用しまたは第8条第3項の貸渡証に記載された運転者以外の者に運転させること。
(3)レンタル車両を転貸し、または他に担保の用に供する等の当社の権利を侵害することとなる一切の行為をすること。
(4)レンタル車両の自動車登録番号標または車両番号標を偽造もしくは変造し、またはレンタル車両を改造もしくは改装する等その原状を変更すること。
(5)当社の承諾を受けることなく、レンタル車両を各種テストもしくは競技に使用しまたは他車の牽引もしくは後押しに使用すること。
(6)法令または公序良俗に違反してレンタル車両を使用すること。
(7)当社の承諾を受けることなくレンタル車両について損害保険に加入すること。
(8)レンタル車両を日本国外に持ち出すこと。
(9)その他第8条第1項の借受条件に違反する行為。

第18条 (違法駐車の場合の措置等)

1. 借受人または運転者は、レンタル車両に関し、道路交通法に定める違法駐車をしたときは、直ちに違法駐車をした地域を管轄する警察署に出頭し、自らの責任と負担で違法駐車に係る反則金等および違法駐車に伴うレッカー移動、保管、引取り等の諸費用を納付するものとし、
2. 当社は、警察からレンタル車両の放置駐車違反の連絡を受けたときは、借受人または運転者に連絡し、速やかにレンタル車両を移動させ、または引取り、レンタル車両の借受期間満了時または当社の指示する時までに関轄警察署に出頭して違反を処理するよう指示するものとし、借受人または運転者はこれに従うものとし、なお当社は、レンタル車両が警察により移動された場合には、

当社の判断により、自らレンタル車両を警察から引取る場合があります。

- 当社は前項の指示を行ったときは、借受人または運転者に対して、違反処理の状況や交通反則告知書または納付書、領収証書等により確認するものとし、違反処理が確認できない場合は、処理されるまで借受人または運転者に対して前項の指示を行うものとし、
- 当社が必要と認めた場合は、当社は警察に対して貸渡証等の個人情報を含む資料を提出する等により借受人または運転者に対する放置駐車違反に係る責任追及のために必要な協力を行うほか、公安委員会に対して道路交通法第51条の4第6項に定める弁明書および貸渡証等の資料を提出し、事実関係を報告する等の必要な法的措置をとることができるものとし、借受人または運転者はこれに同意するものとし、
- 当社が道路交通法第51条の4第1項の放置違反金納付命令を受け、放置違反金を納付した場合もしくは借受人または運転者の探索に要した費用もしくは車両の移動、保管、引取等に要した費用を負担した場合は、当社は借受人または運転者に対し、次に掲げる金額（以下「駐車違反関係費用」という）を請求するものとし、この場合、借受人または運転者は、当社の指定する期日までに駐車違反関係費用を支払うものとし、
- 放置違反金相当額 (2)当社が別に定める駐車違反違約金(3)探索および車両の移動、保管、引取等に要した費用
- 第1項の規定により借受人または運転者が違法駐車に係る反則金を納付すべき場合において、当該借受人または運転者が、第2項に基づく違反を処理すべき旨の当社の指示に応じないときは、当社は第5項に定める放置違反金および駐車違反違約金に充てるものとして、当該借受人または運転者から、当社が別に定める額の駐車違反金（次項において駐車違反金という）を申し受けることができるものとし、
- 前項に基づき借受人または運転者が駐車違反金を当社に支払った後、借受人または運転者が当該駐車違反に係る反則金を納付したまたは公訴を提起されたこと等により、放置違反金納付命令が取消され、当社が放置違反金の還付を受けたときは、当社はすでに支払を受けた駐車違反関係費用のうち、放置違反金相当額のみを借受人または運転者に返還するものとし、

第5章 返還

第19条（返還責任）

- 借受人または運転者は、レンタル車両を借受期間満了時まで所定の返還場所において当社に返還するものとし、
- 借受人または運転者が前項に違反したときは、当社に与えた一切の損害を賠償するものとし、
- 借受人または運転者は、天災その他の不可抗力により借受期間内にレンタル車両を返還することができないときは直ちに当社に連絡し、当社の指示に従うものとし、この場合、当社に生ずる損害について責を負わないものとし、

第20条（返還時の確認等）

- 借受人または運転者は、当社立会いのもとにレンタル車両および備品を返還するものとし、この場合、通常の使用による劣化、摩耗した箇所を除き、引渡し時の状態で返還するものとし、
- 借受人または運転者は、レンタル車両の返還にあたって、レンタル車両内に借受人または運転者の遺留品がないことを確認して返還するものとし、当社は、レンタル車両の返還後は、遺留品の保管について一切の責を負わないものとし、
- 借受人は、未清算の貸渡料金等がある場合は、レンタル車両返還時までその清算を完了しなければならぬものとし、

第21条（借受期間変更時の貸渡料金）

- 借受人または運転者は、第12条により借受期間を変更したときは、変更後の借受期間に対応する貸渡料金を支払うものとし、
- 借受人または運転者は、第12条による当社の承諾を受けることなく借受期間を延長した後には返還したときは、前項の料金に加え、超過した時間に応じた超過料金の2倍額の違約料を支払うものとし、

第22条（返還場所等）

- 借受人または運転者は、第12条による当社の承諾を受けることなく所定の返還場所以外の場所にレンタル車両を返還したときは、返還場所変更違約料として回送費用の2倍額を支払うものとし、

第23条（返還されなかった場合の措置）

- 当社は、借受人または運転者が、借受期間が満了したにもかかわらず所定の返

還場所にレンタル車両を返還せず、かつ、当社の返還請求に応じないとき、または借受人の所在が不明となる等の理由により不返還になったと認められるときは、刑事告訴を行う等の法的措置をとるものとし、

- 前項の場合、当社はレンタル車両の所在を確認するため、借受人または運転者の家族、親族、勤務先等の関係者への聞き取り調査等を含む必要な措置をとるものとし、
- 第1項に該当することとなった場合、借受人または運転者は、第28条の定めにより当社に与えた損害について賠償する責任を負うほか、レンタル車両の回収および借受人または運転者の探索に要した費用を負担するものとし、

第6章 故障、事故、盗難等

第24条（故障発見時の措置）

- 借受人または運転者は、使用中にレンタル車両の異常または故障を発見したときは、直ちに運転を中止し、当社に連絡するとともに、当社の指示に従うものとし、

第25条（事故発生時の措置）

- 借受人または運転者は、使用中にレンタル車両に係る事故が発生したときは、直ちに運転を中止し、事故の大小にかかわらず法令上の措置をとるとともに、次に定める措置をとるものとし、
- (1)事故の状況等を当社に報告し、当社の指示に従うこと。
- (2)前号の指示に基づきレンタル車両の修理を行う場合は、当社が認めた場合を除き、当社または当社の指定する工場で行うこと。
- (3)事故に関し当社および当社が契約している保険会社の調査に協力し、必要な書類等を遅滞なく提出すること。
- (4)事故に関し相手方と示談その他の合意をするときは、あらかじめ当社の承諾を受けること。
- 借受人または運転者は、前項の措置をとるほか自らの責任において事故を処理、解決を行うものとし、
- 当社は、借受人または運転者のため事故の処理について助言を行うとともに、その解決に協力するものとし、

第26条（盗難発生時の措置）

- 借受人または運転者は、使用中にレンタル車両の盗難が発生したときその他被害を受けたときは、次に定める措置をとるものとし、

- (1)直ちに最寄りの警察に通報すること。
- (2)被害状況等を当社に報告し、当社の指示に従うこと。
- (3)盗難その他の被害に関し当社および当社が契約している保険会社の調査に協力し、必要な書類等を遅滞なく提出すること。

第27条（使用不能による貸渡契約の終了）

- 使用中において故障、事故、盗難その他の事由（以下「故障等」という）によりレンタル車両が使用できなくなったときは、貸渡契約は終了するものとし、ただし、当社が認めた場合は、代替レンタル車両により貸渡契約を継続するものとし、
- 借受人または運転者は、前項の場合、レンタル車両の引取りおよび修理等に要する費用を負担するものとし、当社は受領済の貸渡料金を返還しないものとし、ただし、故障等が第3項または第5項に定める事由による場合はこの限りでないものとし、
- 故障等が貸渡し前に存した瑕疵による場合は、借受人は当社から代替レンタル車両の提供を受けることができるものとし、なお、代替レンタル車両の提供条件については、第5条第2項に準じます。
- 借受人が前項の代替レンタル車両の提供を受けないときは、当社は受領済の貸渡料金を全額返還するものとし、なお、当社が代替レンタル車両を提供できないときも同様とします。
- 故障等が借受人、運転者および当社のいずれの責にも帰すべからざる事由により生じた場合は、当社は、受領済の貸渡料金から、貸渡から貸渡契約の終了までの期間に対応する貸渡料金を差し引いた残額を借受人に返還するものとし、
- 借受人および運転者は、本条に定める措置を除き、レンタル車両を使用できなかったことにより生ずる損害について当社に対し、本条に定める以外のいかなる請求もできないものとし、

第7章 賠償及び補償

第28条（賠償及び営業補償）

- 借受人または運転者が借り受けたレンタル車両の使用中に第三者または当社に損害を与えたときは、借受人または運転者はその損害を賠償するものとし、ただし、当社の責に帰すべき事由による場合を除きます。
- 前項の当社の損害のうち、事故、盗難、借受人または運転者の責に帰すべき事由による故障、レンタル車両の汚損、臭気等により当社がそのレンタル車両を利用してきたことによる損害については利用料金表等に定めるノンオペレーションチャージによるものとし、借受人または運転者は直ちにこれを支払うものとし、

第29条（保険及び補償）

- 借受人または運転者が第28条第1項の賠償責任を負うときは、当社がレンタル車両について締結した損害保険契約および当社が定める補償制度により、次の限度内の保険金が支払われます。ただし、その保険約款の免責事由に該当するときはこの保険金は支払われません。
- (1)貸渡自動車 対人補償 無制限
- (2)貸渡自動車 対物補償 無制限（免責額0万円）
- (3)貸渡自動車 車両補償 70万円（免責額0万円）
- 警察および当社に届出のない事故、その他借受人または運転者がこの約款に違反したときは、前項に定める保険金は支払われません。
- 保険金が支払われない損害および第1項の定めにより支払われる保険金額を超える損害については、借受人または運転者の負担とします。
- 借受人または運転者の負担すべき損害金を当社が支払ったときは、借受人または運転者は、直ちに当社に弁済するものとし、
- 第1項に定める損害保険契約の保険料相当額は貸渡料金に含まれます。

第8章 貸渡契約の解除

第30条（貸渡契約の解除）

- 当社は、借受人または運転者が使用中にこの約款に違反したとき、または第9条第1項、同第2項各号のいずれかに該当することとなったときは、何らの通知、催告を要せずに貸渡契約を解除し、直ちにレンタル車両の返還を請求することができるものとし、この場合、当社は受領済の貸渡料金を借受人に返還しないものとし、

第31条（中途解約）

- 借受人は、使用中であっても、当社の同意を得て貸渡契約を解約することができるものとし、この場合、当社は受領済の貸渡料金から、貸渡から返還までの期間に対応する貸渡料金を差し引いた残額を借受人に返還するものとし、
- 借受人は、前項の解約をするときは、次の中途解約手数料を当社に支払うものとし、
中途解約手数料＝{(貸渡契約期間に対応する基本料金)－(貸渡から返還までの期間に対応する基本料金)}×50%

第9章 個人情報

第32条（個人情報の利用目的）

- 当社が借受人または運転者の個人情報を取得し、利用する目的は次のとおりです。
- (1)貸渡契約の締結に際し、借受申込者または運転者に関し、本人確認および審査を行うため。
- (2)当社の取り扱う商品、サービスの開発、または顧客満足度向上策等の検討を目的として、借受人または運転者に対しアンケート調査を実施するため。
- (3)個人情報を統計的に集計、分析し、個人を識別、特定できない形態に加工した統計データを作成するため。
- 第1項各号に定めていない目的で借受人または運転者の個人情報を取得する場合には、あらかじめその利用目的を明示して行います。

第33条（個人情報の登録および利用の同意）

- 借受人または運転者は、当社が第32条の利用目的で個人情報を利用することに同意するものとし、
- 借受人または運転者は、自己に関する個人情報の開示を請求ができるものとし、当社が保有する個人情報が万一不正確または誤りであることが判明した場合には、速やかに訂正または削除に応じるものとし、

第10章 雑則

第34条 (相殺)

1. 当社は、この約款に基づく借受人または運転者に対する金銭債務があるときは、借受人または運転者の当社に対する金銭債務といつでも相殺することができるものとします。

第35条 (消費税)

1. 借受人は、この約款に基づく取引に課せられる消費税を当社に対して支払うものとします。

第36条 (遅延損害金)

1. 借受人または運転者および当社は、この約款に基づく金銭債務の履行を怠ったときは、相手方に対し年率14.6%の割合による遅延損害金を支払うものとします。

第37条 (細則)

1. 当社は、この約款の細則を別に定めることができるものとし、その細則はこの約款と同等の効力を有するものとします。
2. 当社は、別に細則を定めたときは、当社の営業店舗に掲示するとともに、当社の発行するパンフレット、ホームページにこれを記載するものとします。これを変更した場合も同様とします。

第38条 (合意管轄裁判所)

1. この約款に基づく権利および義務について紛争が生じたときは、訴額のいかんにかかわらず当社の本店、支店または営業店舗の所在地を管轄する裁判所をもって管轄裁判所とします。

附則

本約款は、2014年10月14日から施行します。

改訂 2015年4月1日

改訂 2015年7月24日

改訂 2016年6月26日

改訂 2016年8月1日

改訂 2019年4月1日